

実践地域	上板町（上板中学校区）
	<p>1 本年度の研究テーマ 学校が元気に！ 地域が元気に！ 子どもたちに夢を描く力を！ ～子どもの成長とともにある学校を目指して～</p> <p>2 取組の内容</p> <p>(1) コミュニティスクールの活用</p> <ul style="list-style-type: none">①第1回 共通テーマの決定<ul style="list-style-type: none">・小中で育てたい子ども像の共有「あいさつ」をテーマとして、各校・地域で協働的に取り組む②第2回 取組発表及び熟議<ul style="list-style-type: none">・各学校・地域での取組を発表後、熟議熟議テーマ「自分のことが好きだと思える子どもを育てるために私たちができること」③第3回 取組の評価 <p>(2) 小中連携部会の活用</p> <ul style="list-style-type: none">①第1回 具体的な取組についてオンラインで協議②第2回 活動PRチラシの原稿、各取組後のアンケート結果などについてオンラインで協議及び情報共有③第3回 小中連携部会参加者対象に実施したFormsアンケートによる取組評価 <p>(3) オープンスクール</p> <ul style="list-style-type: none">①対象等 町内4小学校小6を対象に中学校で実施②内 容<ul style="list-style-type: none">・体験授業(理科、体育、英語)・体育館にて中学校紹介動画を視聴及び中学校生徒会役員による質問コーナー中学校の授業や生活の様子を体験する機会となった。 <p>(4) 児童生徒の交流</p> <ul style="list-style-type: none">①オンラインによる「上板町版いじめ問題子どもサミット」の実施<ul style="list-style-type: none">各校の取組紹介及び「ネットいじめ解消」について意見交換②中学生が小学校に出向き、あいさつ活動を実施③中学生が小学校で職場体験学習 <p>(5) 小中相互の授業参観</p> <ul style="list-style-type: none">①小中それぞれの指定した期間内に教職員が訪問し、普段の授業を参観②9年間で子どもを育てるとい意識の共有③Formsアンケートを活用した授業後の意見交流 <p>小中それぞれの教職員の児童生徒への関わり方を見ることができ、授業だけでなく、それぞれの違いを分かり合える機会になった。</p> <p>(6) 活動PRチラシの作成(別添資料) 子どもたちの活躍する姿を地域・家庭へ発信</p> <p>3 研究の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 上板町コミュニティスクールを活用し、学校と地域で目標を共有した取組ができた。地域の人々と協働的に、活動をより広げるための方策や工夫を考えていきたい。(2) 小中連携部会では、今回の取り組みに加え、各校の課題や参考にしたい事柄などについて意見交換をし、それぞれの状況を知ることができた。共通項を見出し、共に考える機会としたい。(3) オープンスクール事後アンケートでは、100%の児童が「とてもよかった」「よかった」と回答しており、中学校生活への期待がうかがえる結果となった。(4) 児童生徒の交流機会が増えることで、児童生徒間の垣根を低くすることができた。交流の時期、時間的な調整に工夫が必要である。次への発展的な継続にどう取り組むかを検討したい。(5) 異校種について知る機会となったが、何を視点として授業見学をするか、目的意識を明確にして臨む必要がある。小・中の教職員が町内の子どもをどのように育てるかを話し合う機会を設ける。(6) 児童生徒が活躍する姿を他校や地域全体へ積極的に発信する機会を今後も継続していく。



町内小中学校での取組紹介

学校が元気に！ 地域が元気に！ 子どもたちに夢を描く力を！
～ 子どもの成長と ともにある学校をめざして ～



上板町いじめ問題子どもサミット

オンラインで「いじめ防止」についての意見交流

小中の児童生徒がそれぞれの学校でのいじめ問題への取組を発表し合い、いじめをなくすための活動について意見交換をしました。

その中で中高生で問題が多い、ネット（SNS）のいじめについて、自分たちでできる事を話し合いました。

「いじめを受けたら、自分だけで悩みを抱え込まず、友達や親、先生に相談する。」

「普段から人のことを考えて行動し、SNSでは顔が見えない分、相手を思いやる言葉で返事を返すなど、正しい使い方を学び、自分が加害者側にならないことが大切。」という意見が出ました。



上中オープンスクール



授業体験 & 中学校紹介

町内4小学校の6年生が3教科（保健体育、理科、英語）に分かれ、中学校の授業を体験しました。

英語科ではALTの先生とともに英語担当教師が授業を行い、ペアで活動をして楽しみました。自己紹介や聞く活動、スクリーンに提示したものを答えました。理科ではドライアイスを使った実験、保健体育ではバスケットボールをしました。その後、中学校生活での質問に生徒会役員が答えるなどし、中学校を知ってもらう一日になりました。

上板中学校の取組

クリーンデー（奉仕活動）



全校生徒一斉 学校周辺の道路脇を清掃活動

11月24日（金）の午後、学校敷地内の除草作業や学校周辺の道路脇を巡回しながら、ゴミ拾い活動を実施しました。

1年生は中庭や体育館北側の除草作業、2年生が校外ゴミ拾い活動、3年生はグラウンドの除草作業を行いました。

仲間と協力してゴミ拾いや除草作業をしながら、交流を深め、仲間づくりをしていくこともこの行事の目的です。学校や地域の環境を美化することで、心が浄化され、自発的な行動を促す取組となっています。時間いっぱい一生懸命に活動しました。

相手の顔を見て 笑顔であいさつ



生徒会執行部、人権（いじめ防止子ども）委員会 朝のあいさつ活動

生徒会執行部、人権（いじめ防止子ども）委員会の生徒が中心となり、生徒玄関前などで、あいさつ活動を行っています。

毎朝、玄関前で大きなあいさつを交わし、さわやかなあいさつが響き渡ります。気持ちの良い1日を送ってもらうために、生徒会執行部や人権（いじめ防止子ども）委員会が頑張っています。

相手の顔を見て大きな声であいさつをした人には「あいさつシール」を渡すことにしています。玄関先の学級ごとのシートへ貼り付け、意識高揚を図っています。学校全体でポジティブ行動支援（PBS）の取組を推進する活動をしています。

神宅小学校の取組

地域ぐるみで広がる
あいさつの輪



見守り隊の方との対面式



毎朝の交通立哨の様子

地域の見守り隊の方々が、毎日登下校時に通学路に立ち、子どもたちに温かい声をかけてくださることが、安全・安心につながっています。

学校でも、ハッピーカッキー委員会が、あいさつの輪を広げようと毎朝玄関前に立ってあいさつ運動を行っています。元気なあいさつができると素敵なカードをプレゼントしてくれます。

神宅小学校の一日は、地域のみなさんと子どもたちの元気なあいさつからスタートします。



東光小学校の取組

朝のあいさつ活動



定期的に6年生が朝のあいさつ活動を行っています。自分から元気なあいさつができるようになってきました。今では、

5年生も活動に加わり、学校全体に広がっています。



お話ダイヤさんと、朝の読み聞かせ

6年生も一緒に、お話ダイヤさんと朝の読み聞かせをしています。読み聞かせをする本を選んだり、読み方の工夫や練習をしたりして、聞いている人を楽しませています。

松島小学校の取組



松っ子スマイルプロジェクト



松っ子スマイルプロジェクト（あいさつ運動）を昨年度に引き続き4月から6年生の児童を中心に正門前で行っています。6年生の姿を見て、次第に5年生や4年生の児童も参加するようになり、活動の輪が学校全体に広がっています。

12月には、中学生が松島小学校に来て、小学生と一緒に正門前で元気なあいさつをし、町内全体にあいさつの輪が広がっています。

高志小学校の取組

ゲストティーチャーや体験学習から 子どもたちに夢を描く力を

本校は多くの方々に支えられた総合的な学習の時間を展開しています。校区や県内各地の様々な職業・立場の方と出会い、触れ合い、仕事に対する熱い思いや生き方を学ぶ中で、子どもたちが自身の将来を考え、夢を描く力を伸ばしています。

下学年では、地域各所に出かけて高志のよさを見つけています。田植えや稲刈り体験、コスモス畑やレンゲ畑、牛小屋や養鰻場などを訪れるなど、地域のよさを身をもって感じました。

高学年では、校区内外で活躍されている養豚業や藍染め、農業に従事されている方々のお話から、学んだことや知ったこと、考えたことなどの情報を発信する学習を続けています。

様々な方々との交流を通して、人とかかわり方やあいさつの大切さについて考え、言葉や態度で気持ちを表したり、文字で伝えたりすることを大事にしながら取組を進めています。

